

岩作地区生活道路整備基本計画 概要

1. まちの将来像

岩作地区の問題

- 幅員4m未満の狭い道路や行き止まりの道路がある
- 救急車等の緊急車両やゴミ収集車等が家のそばまで進入できない など

岩作地区の魅力

- 長久手市の中心地にありながら、昔からの街道や香流川がある
- 歴史的資源や自然が多く残る
- 静かで魅力のある住宅地が広がっている など

岩作らしい歴史や自然が感じられ 住民の交流があり、安全に、安心して穏やかに暮らせるまち

- 高層の建物がない戸建て住宅を中心に静かに暮らせるまちをつくる
- 地域住民の交流やふれあいを促進し、便利に暮らせるまちをつくる
- 通過交通が少なく、緊急車両等が通れる等、安全で安心して暮らせるまちをつくる
- 岩作の歴史的資源や香流川周辺の美しい自然が身近に感じられるまちをつくる

2. 生活道路整備の基本方針

まちの将来像の実現に向けたまちづくりを進めていくにあたっては、まずは本地区における生活道路の整備を最優先に進めていくことが必要です。

そこで、本地区の中心を東西に貫き、古くから地域の主要な道路として利用されてきた岩作旧街道と香流川沿いの側道を主要道路とし、その他の道路を生活道路として位置付け、以下に整備方針を示します。

(1) 主要道路の整備方針

① 岩作旧街道

岩作旧街道に残る歴史的な資源を活かし、「岩作の歴史街道」として、歴史を伝え、地域住民の交流の拠点となるまちづくりを進めます。

② 香流川沿いの側道

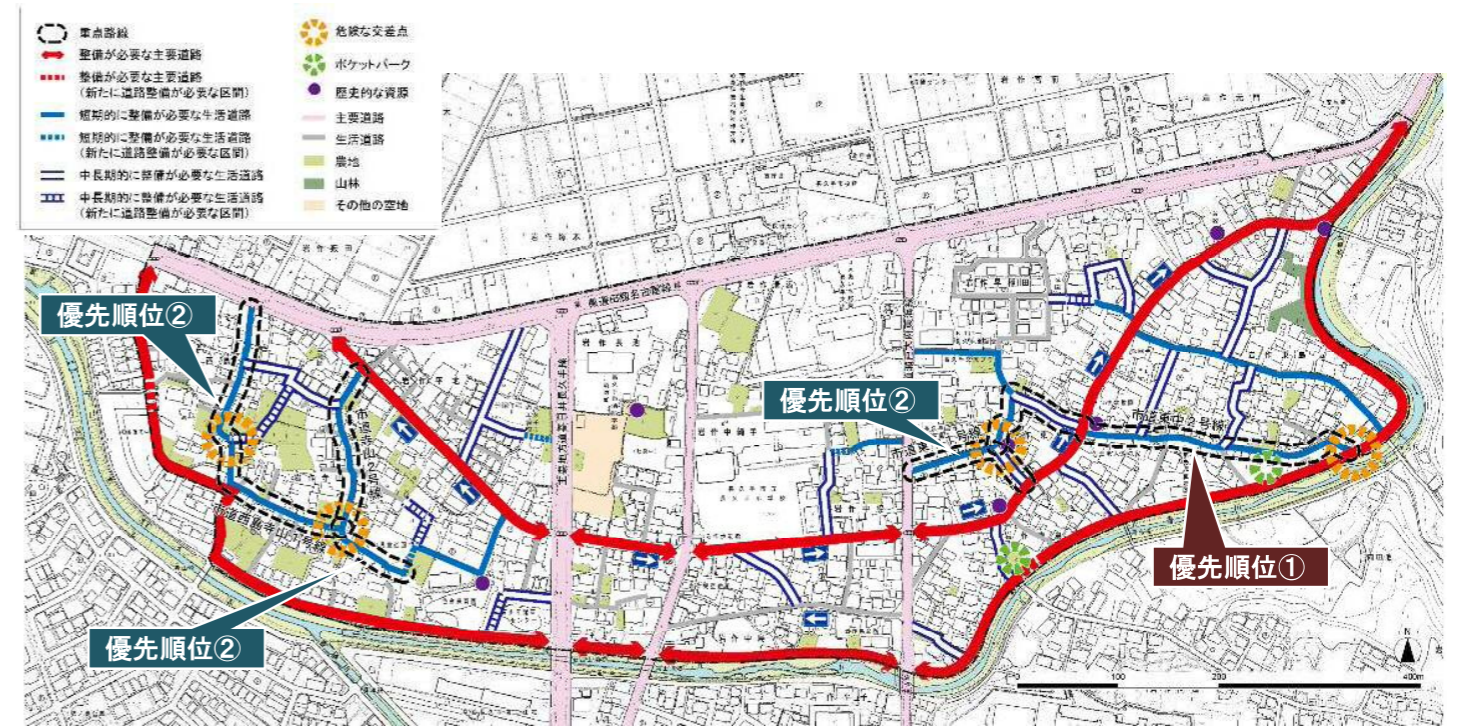
香流川周辺に残る自然や歴史的資源を活かし、長久手の歴史を感じ、四季を楽しむことができる、自然あふれる歩きたくなる道づくりを進めます。

(2) 生活道路の整備方針

生活道路については、建物の建替えにあわせ、セットバックを行い、道路幅員4mの確保を基本とし、地域住民の生活利便性の向上と、防災に対する安全性を早期に確保するため、特に地域の安全性の向上に寄与する路線の整備を優先的に進めます。

【整備の優先順位】

- ①測量が既に実施済みであり、道路の中心線が確定している市道東島2号線の整備を最優先に行う。
- ②岩作旧市街地地区まちづくり推進会議で意見が出された特に危険な交差点に含まれる路線を重点路線と位置づけ、重点路線の整備を優先的に進める。重点路線の整備順については、地域住民と検討を行いながら随時決定する。
- ③その他の道路については、沿道住民の合意が得られ次第、順次整備を進めることとする。



3. 生活道路整備を早期に実現するためのルール

生活道路整備を早期に実現するためのルールとして、住民が主体的に取り組むルールと行政が主体的に取り組むルールをまとめます。

(1) 地域住民が主体的に取り組む生活道路整備を早期に実現するためのルール

- ✦ 建て替えの際には、建築基準法に基づいたセットバックが行われるよう、地域住民へ狭い道路整備のルールを周知し、地域住民が一体となって、生活道路整備を推進しましょう。
- ✦ 農地等の非建付地についても、積極的にセットバックしましょう。
- ✦ 見通しの良い道路とするため、植栽は道路にはみ出さないようにし、塀を垣や柵にしましょう。
- ✦ 地震の際に倒壊し道路閉塞の危険が高い空き家は、そのままにせず建替える等、土地活用を進めましょう。

(2) 行政が主体的に取り組む生活道路整備を早期に実現するためのルール

- ✦ 生活道路整備を早期に実現するため、事業化した路線を対象に狭い道路整備に関する助成要綱の制度設計を早急に行います。狭い道路整備に関する助成要綱では、敷地が2方向以上接道している場合の支援や、本来道路として使われるべき場所に設置されているブロック塀や植栽、車庫、カーポート等の撤去や復旧に対する支援等を行うことを基本方針として検討を進めます。
- ✦ 既に建物のセットバックを行っているものの、ブロック塀や植栽、車庫、カーポート等が設置され、道路として利用できない箇所については、これらの障害物の撤去を促し、早期に道路幅を進めるよう、行政と地域住民が協力して、土地所有者に対して働きかけを行います。

4. 推進体制について

生活道路整備を地域住民と協議を行いながら、着実に実現していくため、各自治区の代表や有志等により構成される(仮称)岩作地区生活道路整備協議会を立ち上げます。

(仮称)岩作地区生活道路整備協議会では、地域住民と行政が協力して協議を行い、整備路線及び区間を決定し、毎年の整備の進行管理を行います。